



生成AI活用による 業務効率化シミュレーション

AI導入がもたらす9つの具体的改善案と定量的・定性的インパクト

案1: 財務報告書の作成効率化

膨大なデータからの「抽出」と
「構成案作成」をAIが代替。単
なる要約を超えた専門的支援。



75%削減
(▲12時間)

現在 (16.0h)

改善後 (4.0h)

※ 浮いた時間はストーリー構築やリスク管理、美装化に充当。

案2: 契約文書案の作成(75%削減)

「抜け漏れ防止」と「トーン統一」



網羅性の向上

AIによる一般的なリスク項目の自動追加。



品質の均一化

リーガル・トーンの瞬時の統一。



戦略的チェック

人間はビジネスモデル適合性の判断に集中。

工数 (Man-hours)

6.0h



1.5h

75%削減

費用 (Cost)

30,000円



7,500円

案3: デビルズ・アドボケート(企画評価)



心理的安全性の確保

忖度なしに「最悪のシナリオ」を提示し、摩擦のないリスク指摘を実現。



多角的視点の抽出

法務、財務、顧客心理など複数人格をAIに演じさせ、網羅性を向上。



意思決定の高速化

「リスクの議論」から「対策の議論」へ会議の質をシフト。



削減効果： 工数 ▲6.0h / 費用 ▲30,000円 (8.0h → 2.0h)

案4：企画アイデア出し（ブレスト）

81%
Time Reduction



思考の壁を突破するAI活用

過去の成功体験や固定観念に縛られず、数秒で多様な切り口を提示。



- 斬新な切り口：
「突拍子もない案」の強制生成。



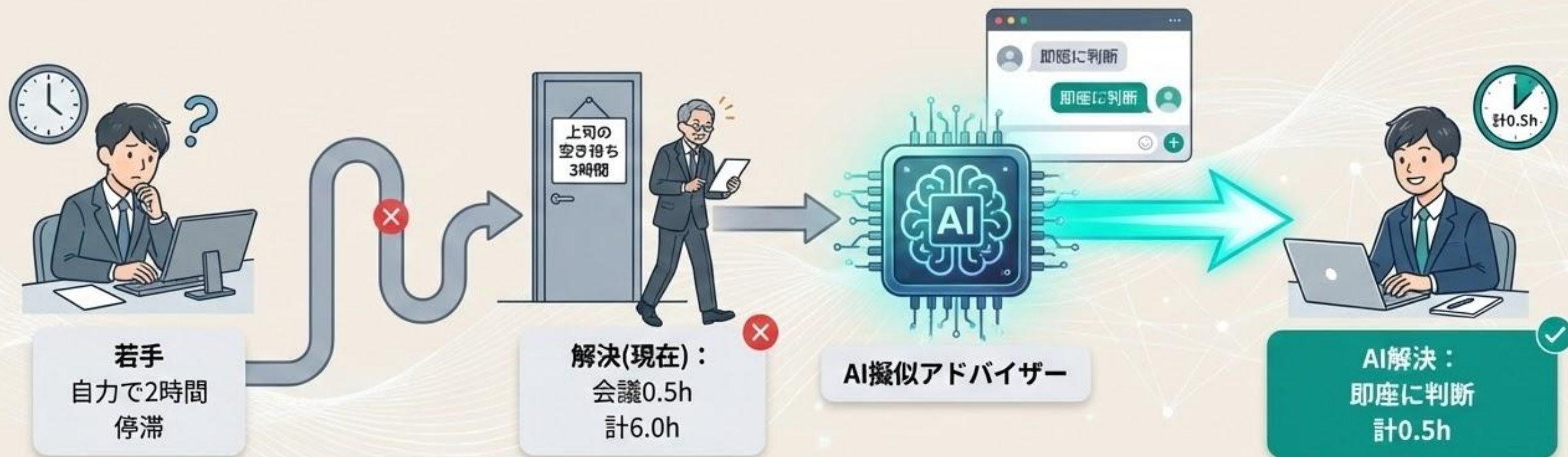
- 厳格な反映：
予算・ターゲット条件を瞬時に
フィルタリング。



- ブラッシュアップ：
ゼロから考えず「たたき台」の
評価から開始。

案5: 優秀層の判断再現(擬似アドバイザー)

暗黙知をAIに言語化させ、若手が24時間相談できる体制を構築。



爆発的效果: 案件進捗の加速、トップ層の「集中時間」確保、教育の標準化

案6: キャッチコピー多案作成

「手癖」からの脱却と「研磨」



↓ 80%削減 (5h → 1h)

- 意外性：自身では出せない単語の組み合わせ。

- 展開：エモーショナル/格言風などトーンの使い分け。

案7:FAQ化(ログからの自動抽出)

月間500件の対応ログから主要FAQを作成。非構造化データの構造化。



500件の対応ログ



AIによる非構造化データの構造化



項目	現在	改善後
分析・作成時間	25.0h	4.0h

↓ 84% DOWN

全ログをフラットに分析し、「サイレントカスタマー」の声を可視化。

案8：ナレッジ検索（社内規定）

月間削減効果：▲56時間 / ▲280,000円（200件問い合わせ想定）

心理的な壁の解消



「こんなこと聞いてもいい？」を排除。
自然言語で即座にルール確認。

管理部門の保護



経理・総務の対応工数が激減。
決算期などの「集中タイム」を死守。

案9：メール作成の効率化

75%削減（▲30時間/月）

「お詫び」「価格交渉」など、精神的エネルギーを消耗する文面作成をサポート。

心理的ハードル：

白紙を前に悩む時間をゼロに。



感情の切り離し：

ストレス場面でも冷静なマナーを維持。



品質の均一化：

全組織で高いプロ水準を担保。

